

< 2008年度研修実績 >

1) 【KYT・メディカルセーフター（RCA）の教育研修が行われました】

2009年2月23日、武蔵野赤十字病院専任リスクマネージャー杉山良子先生によるKYT、テプコシステムズ医療安全推進担当田島英明先生によるメディカルセーフター（事故原因分析）の研修会が実施されました。東京近郊の共済病院より主にリスクマネージャーを中心とした看護師、臨床工学士、理学療法士の方が講義とグループワークによる教育を受けました。KYTについては日常の診療行為の手順の中に織り込むことで日常診療をより安全に行われるようになることが期待され、メディカルセーフターは各部署の事例からより安全なシステムを築き上げていく力を付けるきっかけになったと考えられます。

国家公務員共済組合連合会
シミュレーション・ラボセンター長
虎の門病院 医療安全アドバイザー
中西 成元

2) 【院内メディエーター研修（基礎コース）が実施されました】

2009年3月3、4日、早稲田大学大学院法務研究科和田仁孝教授、大阪大学コミュニケーションデザイン・センター特任講師中西淑美先生によりADR（院内メディエーション）研修が講義とロールプレイを織り交ぜた2日間で行われました。受講者からはこの様な考え方で患者さん、家族と接すれば良いのかと改めて学ぶことが出来たとの声が聞かれ充実した研修になりました。院内メディエーションと安全管理は切り離せないものであり、メディエーション手法は患者さんと医療者の対話を橋渡しするもので、看護に必要であるとの話に、受講者は大いに得るところが大きかったと思われる研修でした。

国家公務員共済組合連合会
シミュレーション・ラボセンター長
虎の門病院 医療安全アドバイザー
中西 成元

3) 【虎の門病院全管理者対象「院内メディエーション研修」が実施されました】

12月22日、虎の門病院内で病院及びシミュレーション・ラボセンター共催によるADR（医療メディエーション）研修が早稲田大学大学院法務研究科教授和田仁孝先生、大阪大学コミュニケーションデザインセンター特任講師中西淑美先生により行われました。院長以下、分院長、副院長、事務部長及び臨床及び臨床技術部各科部長51名が講義とロールプレイによるメディエーションの実際を学びました。

1日の簡易コースのため、スキルを身に付けるまでにはいきませんでした。院内メディエーションの理解を深めてもらう効果はありました。多くの管理者がADRの必要性を耳にしたことはあると思われませんが、より深く理解し今後の展開のためになる研修会であったと考えております。

国家公務員共済組合連合会
シミュレーション・ラボセンター長
虎の門病院 医療安全アドバイザー
中西 成元



4) 【第2回 シミュレーション教育出張研修が行われました】

11月11、12日シミュレーション・ラボセンターの出張研修が九州新小倉病院にて行われました。本年7月に行いました北海道出張研修に続き2回目となります。

今回の研修には運営参加をしていない九州、四国、中国地区の共済病院からも参加があり、シミュレーション教育の理解が深まり今後のラボセンターの運営にも役立ったと思っております。

研修内容は、前回と同様3つのオリジナルシナリオを使用し、延べ72名の方が受講されました。受講生からはシミュレーターを使用した研修は思っていたものとは違い、実践に近く今後の現場に大変役立つものであったとの感想も多く聞かれました。

来年は北海道、九州・四国・中国地区及び近畿・中部地区へも出張研修を行う予定です。多数の方が研修を受講され、このオリジナルシナリオがより充実したものとなり、更に皆様のお役に立てるよう努力して参りたいと考えております。

国家公務員共済組合連合会
シミュレーション・ラボセンター長
虎の門病院 医療安全アドバイザー
中西 成元



5) 【第3回共済医学会 I C L S 研修が行われました】

共済医学会学術集会のプログラムの一環として今回も I C L S 研修を行いました。呉共済病院の石川雅巳先生コースディレクターの下、ラボセンターから育った各病院からのインストラクターにより 24 名の受講者に対し研修を行いました。この中から多くのインストラクターが育ち、さらに教育の環を広めてくれることを願っています。

国家公務員共済組合連合会
シミュレーション・ラボセンター長
虎の門病院 医療安全アドバイザー
中西 成元



6) 【第1回 シミュレーション教育出張研修が行われました】

この度、初めて当シミュレーション・ラボセンターの出張研修が北海道 KKR 札幌医療センター斗南病院で行われました。

当ラボセンターの運営に参加している病院は北海道から九州まで広域にわたり存在するため、研修参加のための時間と費用がかかることが難点でした。このため特色のある内容の研修が行えるよう準備してまいりました。

日本医療シミュレーション教育研究会との共同開発の人工呼吸器トラブル対応、人工透析トラブル対応、及び日本医療教授システム学会との共同開発の患者急変対応コースの3つのオリジナルシナリオを1年目より開発を始め、当ラボセンターで実践しながら実用性、有用性を確認し、3年目になり当ラボセンターのオリジナルシナリオとして研修が可能となりました。そして、今年度のラボセンタースケジュールとして北海道、九州での出張研修を行うことが決定されました。

7月7、8日洞爺湖サミット開催の中、斗南病院において当ラボセンタースタッフ7名で研修医、看護師、臨床工学技士計45名に対し終日研修を行いました。管理者の方々の見学も多く得て、好評価で研修を終了することができました。

今後も可能な限り、出張研修を行ってまいりたいと考えております。

国家公務員共済組合連合会
シミュレーション・ラボセンター長
虎の門病院 医療安全アドバイザー
中西 成元



7) 【第3回共済医学会 医療安全管理者研修が行われました】

第3回医療安全管理者研修が実施されました。医療現場における安全管理と質の保証を担うことのできる安全管理者を養成することを目的といたしました。医療安全のための制度、安全管理体制、安全管理者の業務から始まり、司法、倫理、医療を正当なものとする手続き、事故発生時の対応、事故分析などに及ぶ事項を講義と実習で学びました。内容は最新の知見、見解も多く含まれ、この様にすれば良いという事項ばかりではなく、戸惑った受講生も居られたかもしれません。今回の研修を今後の現場できっと役立てて頂けるものと信じております。

今後も引き続き、当シミュレーション・ラボセンターでは安全管理者研修を行ってまいります。

国家公務員共済組合連合会
シミュレーション・ラボセンター長
虎の門病院 医療安全アドバイザー
中西 成元



8) 【2008 年度 新人研修医研修が実施されました】

第3回、新人研修医研修が4月4、5日実施されました。今回は9病院（東北公済病院、九段坂病院、立川病院、広島記念病院、東京共済病院、横浜栄共済病院、横浜南共済病院、平塚共済病院、虎の門病院）48名の参加者に、二日間で延べ63名の指導医で行いました。

初日は、挿管、CV挿入、腰椎穿刺、動脈採血、血管確保、縫合、腹部超音波、BLSの7のタスクを、2日目にはICLS認定コース（獨協医科大学越谷病院池上教授コースディレクター、虎の門病院循環器センター藤本肇先生サブコースディレクター）のもとで研修が実施されました。

やや満開の過ぎた桜に囲まれた気持ちの良いラボセンターで二日間、頭と身体を使った研修が行われ、研修医からは自分がいかに実技ができないかということと指導医の研修に対する情熱を感じてもらうことができました。2年間の研修医中に更に多くのプログラムを通して自ら気付くことで臨床能力を高めて頂く予定です。

国家公務員共済組合連合会
シミュレーション・ラボセンター長
虎の門病院 医療安全アドバイザー
中西 成元

